

基本文献研究 I

科目ナンバリング JLT-219
選択 2単位

木村 康平

1. 授業の概要(ねらい)

古事記を読みます。

古事記は和銅5年(712)に成立したと、序文にされる、わが国に現存する最古の書物です。上・中・下の3巻からなります。上巻は世界の始まりからカムヤマトイハレビコノミコト(神武天皇)の誕生までの神代を扱います。中巻は神武天皇から応神天皇までの、神と人の中つ代を、下巻は仁徳天皇から推古天皇までの人代を語ります。したがって、「古事(ふること)の記(ふみ)」とは、推古天皇までを古代とする歴史認識のもとに編まれたものです。

古事記は物語としても良く出来ています。古典文学への入門として、まず、そのおもしろさと魅力を知ってほしいと思います。

前期は上巻の神話を読みます。わかりやすく説明します。難しく考えないで、古事記の物語性を楽しみましょう。

また、古事記を読み進める過程で、古典の言葉への理解や、説話文学の歴史についての知識を深めていきます。

2. 授業の到達目標

古事記の神話や説話を読むことを通じて、古代の文学に親しみをもつことができる。

古代の人々のものの考え方や生き方を知ることができる。

古代文学に関する基礎的な知識を理解することができる。

古典の文体の特色や語法、語彙について理解することができる。

以上を到達目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(50%)と平常点(授業への意欲や参加度・毎回のコメントシート・レポートなど。50%)をあわせて評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

毎回プリントを用意します。テキストは用いません。

参考文献

坂本勝 『はじめての日本神話』 ちくまプリマー新書

西郷信綱 『古事記の世界』 岩波新書

5. 準備学修の内容

- ・授業で取り上げた箇所について、配付プリントを参照して復習すること。
- ・配付プリントには毎回「質問」が示されています。これについて各自調査し、考察を深めること。
- ・授業時に紹介した参考書などにふれる機会をもつこと。
- ・自ら疑問をたて、さらに発展的に学習すること。

6. その他履修上の注意事項

出席することが大切です。遅刻をしないこと。また、授業マナーは守りましょう。

毎回、授業の終了時にコメントシートの提出があります。

配付プリントの「質問」について答えてください。

各回の授業内容は、授業の進行状況により、一部変更することがあります。ご了承ください。

7. 授業内容

- 【第1回】 世界のはじまりをどう語るかー古事記の冒頭の語り方
- 【第2回】 古事記とは何か(古事記の成立・編者・文体など)①
- 【第3回】 古事記とは何か(古事記編纂の背景ー天武天皇と王朝のはじまり)②
- 【第4回】 イザナキとイザナミー兄妹婚と世界の立てなおし
- 【第5回】 黄泉の国訪問(死者の世界はどのように考えられていたか)
- 【第6回】 死のけがれを経て生まれ出た、世界を統べる者ーアマテラス(天照大神)
- 【第7回】 理知的な姉アマテラスと乱暴者の弟スサノヲの相剋(文化と自然の対立・秩序と破壊・再創造)
- 【第8回】 身を隠すアマテラスー天の岩戸神話(太陽の死と再生、神話における再生の論理の意味)
- 【第9回】 ヤマトノヲロチ退治(自然の神から新しい文化神への交代)
(オンライン授業)
- 【第10回】 スサノヲの女神殺害(穀物の起源と大地母神)
- 【第11回】 大国主神と因幡のシロウサギ(呪医としての王ー王の資格とは何か)
- 【第12回】 大国主神の受難と根の国訪問(王は異界の力を身に帯びて統治する)
- 【第13回】 八千矛神をめぐる愛と嫉妬の歌語り(神々の物語の語り方とは)
- 【第14回】 出雲神話と大和の関係
- 【第15回】 大国主神の草原中国の統治